

講座番号	テーマ	概要	形式・時間・担当
L-1	アンケートから世の中が見えてくる～ 社会調査入門～	くらしの中にある「データ」を一緒に考えていきます。データにだまされないために、自分で考え、判断する能力をつけていきましょう。 (1)「平均」のウソ八百 (2)日本人はいつ頃から長生きになったのか？ (3)「平均」の落とし穴、平均値と中央値 (4)勤務世帯の貯蓄額、多数派はゼロ世帯 (5)「平均」という「現実」は存在しない (6)理想の男性像：年収600万円以上・・・？	講義 40～50分 [担当]庄野
L-2	食と環境問題	フード関連産業と環境問題のかかわりについて紹介し、私たちの食生活と環境との関連を理解します。 (1)オゾン層の破壊 (2)熱帯林の減少、地球温暖化、酸性雨 (3)廃棄物問題 (4)水質汚濁 (5)土壌汚染	講義 40～50分 [担当]庄野
L-3	Letsプログラミング	ノートPCと小型プリンタを持参します。EXCEL マクロ VBAを使って、クリックひとつで印刷を実行するプログラムを一緒に作ってみませんか。最後にこれからのIT×事務職について紹介します。	体験 40～50分 [担当]庄野
L-4	今日から使えるビジネスマナー	普段の生活やビジネスの場面において礼儀やマナーは非常に大切です。礼儀やビジネスマナーを知らなかったばかりに相手を不愉快にさせたり、自分が恥ずかしい思いをししたりしたことはありませんか？皆さんにとって必ず役に立つビジネスマナーを楽しく一緒に学びましょう。	講義 40～50分 [担当]藤
L-5	ホスピタリティ（おもてなし）を学ぼう	誰に対しても敬意を払って、人を快く受け入れるホスピタリティ（おもてなし）の精神が注目を集めています。このホスピタリティ（おもてなし）の精神を実践して多くのお客様に感動を与え続けるテーマパークや数年先まで予約待ちの老舗ホテルなどを例にあげ、ホスピタリティ（おもてなし）について考えてみましょう。	講義 40～50分 [担当]藤
L-6	Scratchで体験するプログラミング的思考	2020年度より新学習指導要領に基づくプログラミング教育が小学校で開始されました。これにより技術者だけでなく、一般の人々にとっても「プログラミング的思考」が必須のスキルとなる世の中となりつつあります。この授業では情報教育環境として注目されている「Scratch」を使って、簡単なアニメーションから複雑な動きやゲームなどのプログラミングに挑戦します。自分が思ったイメージをコンピューターに再現させる体験を通して、今後要求される「プログラミング的思考」とは何か、どのように身につけていくのかについて考えてみましょう。	講義 40～50分 [担当]本井
L-7	ヒトに優しい文書作成術	情報技術(IT)は私たちの社会の隅々まで深く浸透し、誰もがパソコンを使って簡単に文書を作成して配布したり、プレゼンテーションしたりすることができるようになりました。人間の特性を踏まえたデザイン技術を身に着けると、より印象に残りやすく、多くの人に適切に情報を届けることが可能となります。この授業では、そういった普段作成している文書やスライドについて、デザイン・情報学・心理学や人間工学の知見を使ってより魅力的にみせるコツをお教えます。	講義 40～50分 [担当]本井
L-8	K-pop から学ぶマネジメント	韓国のアイドルグループが今のように人気を集めるまでは「PDCA（計画、実行、評価、改善）」というビジネスの基本的な概念が入っています。韓国のアイドルの日本進出を事例として、マネジメントの基本を考えてみます。	講義 40～50分 [担当]金
L-9	異文化コミュニケーションの理解	異文化コミュニケーションとは、まさに文化的な背景がことなる存在同士のコミュニケーションを言います。そこには、いくつかの要素が内包されていますが、特に「言語コミュニケーション」と「感情コミュニケーション」というのが大事なポイントとなります。したがって、本講義ではグローバル時代における言語の大事さやホスピタリティ性に基づく感情の暖かさをベースとして多様な視点からの異文化コミュニケーションを考えてみます。	講義 40～50分 [担当]金